



2025年6月17日

N A N O M R N A 株 式 会 社
代表取締役社長 秋永 士朗
(4571 東証グロース)
問合せ先 I R 担当 土屋 千映子
電話番号 03-6432-4793

膠芽腫を対象とした「TUG1 ASO」の臨床試験が最終投与レベルに到達

当社パイプラインである膠芽腫を対象とした「TUG1 ASO」の医師主導第1相臨床試験において、最終の投与用量レベルとなる第4段階に入ったことをお知らせいたします。

本治験は、2024年2月に再発膠芽腫（こうがしゅ）を対象として国内3施設で開始され、順調に患者登録が進み、2025年度内には患者登録が完了できると見込んでおります。膠芽腫は、脳腫瘍の中で最も悪性度が高く、国内では年間2000人が発症しています。しかしながら、治療法は限られており、新たな治療薬が強く求められています。

本治験は、TUG1 ASO 製剤の安全性を検討し、次相試験の至適投与量を決定するための試験です。これまでに合計12名の患者様に投与が実施され、大きな問題となる副作用は認められていません。引き続き、安全を最優先に治験を継続してまいります。

なお、TUG1 ASOに関しては、国内外における導出活動を積極的に展開しており、6月16-19日に米国ボストンで開催されている Bio International にも出展しております。本件による2026年3月期の業績への影響はございませんが、治験および導出活動などの状況については適時開示してまいります。

TUG1 ASO

TUG1は、たんぱく質に翻訳されないRNA（非長鎖翻訳RNA）で、脳腫瘍などに多く発現が見られるがんの細胞死に関わる重要な因子です。本プロジェクトの共同研究者でもある名古屋大学近藤豊教授は、がん細胞が異常に増殖する過程におけるTUG1の重要な働きについて解明されました。「TUG1 ASO」は、TUG1の働きを抑制するASO（アンチセンスオリゴ核酸）を当社保有のDDS技術である分岐鎖を持つ「YBCポリマー」を利用したDDS製剤です。

以上